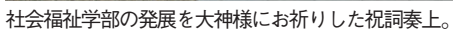


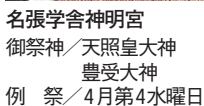
E-mail : soumu@kogakkan-u.ac.jp

第4号

<http://www.kogakkan-u.ac.jp>



◆ 神樂を奉納してご遷座を祝う



福祉学の研究
に邁進できる
よう日夜見守

◆ 神宮より譲り受けた樹木を栽植

名張市の福祉を考えるフォーラムを主催。

「地域社会との連携をさらに強化」

「地域社会への奉仕」を使命
—— 神道(的)福祉の可能性を追求する

「記念学術研究事業の二本柱」

福祉実践を担う主体形成と直結する、本部会の中核の主題たり得ると思われる。また、歴史的・社会的な認識を欠落することなく、その史的検証もおこなう。

以上の使命（ミッション）を果たすべく邁進する所存であるので、ご支援のほど伏してお願ひ申し上げます。

（文責・大野光彦）

第二回推進委員会が十七年二月にもたれ 記念學術研究事業の組織について確認、六つの推進部会が再確認された。それらは以下の通りである。

四「綿日之綿」(糸)「干行打逆音会」(清乃安糸糸綿月長)
五創立三十周年・再興五十周年「記念展覽會開催」(采律神首尊物館長)

六「神道研究資料センター創設」推進部会（伴学長）

ねらいとしている。

二、「神道(的)福祉の可能性」に焦点化した研究

その理論と史的検証

一の研究を根底的に支える理論を神道の精神と歴史に求める。理論装置として、社会科学である社会福祉学と宗教である神道との整合性を求め、

「神道(的)福祉の可能性」

を究める。それは、社会

福祉実践を担う主体形成

と直結する、本部会の中

枢の主題たり得ると思わ

れる。また、歴史的・社

会的な認識を欠落するこ

となく、その史的検証も
おこる。

おきたる

以上の使命（ミッション）

以上の例命(三)とシ

る所存であるので、ご支

援のほど伏してお願ひ申

し上げる次第である。

(文責・大野光彦)

来の組織について確認、六つ

「**関する総合的研究**」

(三) 开元所(三)

進研学院

部会（深津神道博物館長）



さまざまな出会いや体験に満ちている大学生活。その中で、夢や目標に向かって積極的に取り組む学生もたくさんいる。縁があつて皇學館で学ぶ学生たちが、どのように自分を見つめ、自己実現に取り組んでいるのか、伊勢学舎で学ぶ学生たちによる座談会を行い、生の声を聞いてみた。

前編

山根 悦男(大学院博士後期課程 神道学専攻一年)
松本美夕妃(大学院博士前期課程 国文学専攻一年)
後藤 雅美(大学院博士前期課程 国史学専攻一年)
外塚 俊一(専攻科神道学専攻)
柊屋 善大(文学部教育学科三年)
司会 文学部学生委員長・半田 美永教授

◆夢を実現するために

半田 今日は「皇學館大学の今日と明日」というテーマで、色々みなさんのお話を伺いたいと思います。まず、みなさんが皇學館に入学された目的やきっかけなどを順番にご披露して下さい。若い柊屋君からどうぞ。

分がありまして、神職になって主観的な立場から神道を見ると素晴らしいものがあるのではないかと考えたのです。

山根 私は、三年前に専攻科に入学して神道を学んだのですが、元々は神道を学んで修めたいという動機からです。それを続けて、世の中にもお返しできればという思いで入学しました。学ぶうち、専攻科だけでは物足りないと思うようになって修士に進み、いまは博士後期課程で教えていただいております。

会社で働いたり、さまざまな経験を経て教員になりたいと思っていました。実際に音楽の常勤講師をしたり一般の会社で働いてみて、やっぱり教員としての道を真剣に目指そうと強く思いました。この大学に入りまして、音楽短大を出ておりますので国文学科の三回生に編入したので、学ぶうちに興味が深まり、卒業して大学院に進学することにしました。

柊屋 私は、中学生の頃から教員になることを目標にしていましたので、皇學館大学に入学しました。今は学友会総務委員長をして、たくさんの方とを勉強させていただいています。

後藤 私は、皇學館で大学四年間を過ごして、そのまま院に入学したので

外塚 私の場合は、神職になりたいと思って専攻科に入りました。それまでは神道を、客観的に学術的研究の対象として扱っていたんですが、それでは本質がわからない部分がありました。

後藤 私は、皇學館で大学四年間を過ごして、そのまま院に入学したので

今の学生の方がきちんと考えている

◆神道にふれるとき

半田 実際に皇學館大学で学ばれて、新鮮に感じたことや驚いたことはありますか。

半田 専攻科から大学院に進まれた山根さんは、どうですか。

外塚 まずびっくりしたことば、スーツで通うことです。われわれ専攻科の学生は、他大学から来た人間がほとんどです。で、普通にジーンズで来るのが当たり前だと思っていました。それが、こちらに来ると、専攻科や

半田 山根さんの場合は、お勤めをなさって、社会人としての充分なご経験をされて伊勢にいられたわけですね。いま、服装の話題が出ましたが、一般の社会と皇學館とで違うところもあったら、教えて下さい。

山根 私の子どもぐらいの年代の若い学生さんたちと接していますが、私たちが二十歳前後の学生だったときよりは、むしろ今の学生の方がきちんと物事を考えていることを教えてもらいました。それが逆に自分の心の支えとなって、これからやっていけるな、と思います。ここに来るとほんととして、自分自身を見直すことができ、居心地がいいですね。

半田 外塚さん、山根さんと、県外から来られた二人のご意見ですが、後藤さんも福島県のご出身ですね。伊勢の土地はどうですか。

伊勢は、年間を通して温暖で、季節も人柄もとても穏やかな場所です。倉田山という土地は、学問をするのに非常に適した場所だと思えます。また私にとっては、神宮があるのも大きなウエートを占めています。

半田 柊屋君は、いかがですか。

柊屋 私は、伊勢志摩に生まれて二十年です。で、さほど神宮を意識していませんでした。でも、この大学に入学して、教育学科ですけどやはり神道の勉強もするわけですね。その中で、自分が住んでいた地元がすごい場所だったのだな、と実感しました。

半田 松本さんは、音楽の先生をまず志したわけですね。ところが途中で国文の勉強をしたいと思いついたのは、何か理由があったのですか。

松本 音楽は、ピアノからお琴、声楽など物心が付いた頃からずっとやっておりました。学生時代も、小学校から高校までずっと吹奏楽部をやっていました。それで音楽大学の短大に進んだのですけど、実際に教員として勤めてみると、音楽の授業が減っていたり、美術と音楽をまとめて芸術という科目にしようという動きがあったりと、死活問題になるようなことがけっこう出ていました。そこで教職として生きていきたいと考えたのが、新たな発見などがあり、楽しいです。それから、伊勢から熊野にかけてのいわゆる熊野古道も少しずつ歩いていまして、元々山登りが趣味でしたので、歩いてみると、まだまだ昔ながらの道が残っていてとても楽しいですね。

半田 ちょっと世界遺産に登録された時期でありますし、この伊勢志摩を中心とする風土も見直せるのではないかと思います。そこから学べることもいろいろあるでしょうね。外塚さんは、どうですか。

外塚 もちろん神道に対する勉強は当たり前なんです。それが、それ以外に、地域の人びとの交流を深めていきたいと思っています。私は今まで東京と埼玉の二つの大学に行っていたのですが、大学のある地域の人びとの交流が楽しかったです。主に飲み屋さんでの交流が多いのですが、そこで地元の人と仲良くなっているという

伊勢でしか味わえないものを見よう

◆つながりを育みたい

半田 では、みなさんは現在、勉強を含めて何か夢中になっている対象はありますか。



柊屋善大さん

山根 今まで社会生活をしてきましたので、逆にこちらで神道を研究することが、新たな発見などがあり、楽しいです。それから、伊勢から熊野にかけてのいわゆる熊野古道も少しずつ歩いていまして、元々山登りが趣味でしたので、歩いてみると、まだまだ昔ながらの道が残っていてとても楽しいですね。

は球技大会などを企画させていたんですが、その中で一番面白いのは、行事そのものよりも、学友会の中の人間関係から生まれるものです。そういう部分に触れるだけでも非常に面白いですが、でも、学友会と勉強以外にも、遊びという部分も大切にしています。

半田 後藤さんは国史で

が足りないと思います。例えば今、総合体育館を建て替えている中で、県営サンアリーナや県営体育館を使っているのですが、移動の不便さなどから練習不足の問題も出ています。

半田 大学とサンアリーナや県営体育館との間をマイクロバスで送迎していますが、不十分ですか。

が足りないと思います。例えば今、総合体育館を建て替えている中で、県営サンアリーナや県営体育館を使っているのですが、移動の不便さなどから練習不足の問題も出ています。

建学の精神を貫くところに本学の意義

◆学問する環境の改善を

が足りないと思います。例えば今、総合体育館を建て替えている中で、県営サンアリーナや県営体育館を使っているのですが、移動の不便さなどから練習不足の問題も出ています。

あと、みなさんの中で、皇學館のことが物足りないとかが、期待をしたいことなどはありますか。

半田 大学とサンアリーナや県営体育館との間をマイクロバスで送迎していますが、不十分ですか。

柊屋 また学友会の話になりますが、いまこの大学も、クラブ、サークルやその団体に参加する人数が非常に増えてきています。その中で、四月末に予算算衝が行われて、私たち学友会総務が、それぞれの団体にいくらか出を作ったり、そういったことが学ぶことと同じ

半田 サークルやクラブの活動は今、増加傾向にあるとおっしゃったのですが、いつの間にか部員

半田 他に夢中になっている対象はありますか。

後藤 私もやはり伊勢という土地に限られた時間しかいることができないと思いますので、文化や人になるべく多くふれあえるよう、休日は極力外に出るようになっています。今年から、神宮の遷宮が始まりましたが、この間も山口祭を見に行きました。そうした伊勢でしか味わえないもの、また、人生のタイミングが合わないと思えないものを、極力見ようと思つて今は一生懸命です。

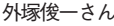
半田 続いて外塚さん、恐らく大学の方に何か要望したいことがあると思

すが、卒業論文は、どんなテーマでしたか。

後藤 卒業論文は、律令制について取り上げました。現在もその辺りを研究しています。



います。
外塚 切実な願いがあります。この図書館の開館時間は、平日は九時から一九時まで。土曜日が九時から一三時までの四時間。日曜日は開いていないです。正直な話、学問はさせたくないのかなと思うくらい、失望しました。図書館でしか借りられないものもありますし、図書館で勉強したいので、ぜひこの点を改善していただきたいと思います。



半田　もっと建学の精神

に即した「濃い」皇學館にしようというご意見ですね。大学院の前期課程に入られた松本さんと後藤さんはいかがですか。

後藤 私も図書館の件は、ぜひお願いしたいと思います。あと、他に希望することがあると言えば、他大学や地域など、学外との交流がもう少し

活発になればな、と思します。学生同士の交流に限らず、他大学の先生に講演をしていただくなど、他と交流することによって、皇學館の性格がはっきりと自覚できる部分もあると思います。他と比較して、自分の良いところや悪いところも自

算できると思うので、交
流の機会がもう少しほし
いです。

松本 図書館の開館時間のことでもそう思います
が、設備面でも改善して
いただきたいことがあります。
駐輪場が、もう自
転車を停める場所がない
ほどいっぱいですし、停
め方のマナーも乱雑にな
っています。

創立百三十年・再興五十周年記念事業募金につきまして、学内外の方々から励ましの声とともに多くのご芳志をいただきました。みなさまのご理解とご好意に対して心より厚く御礼申し上げますと同時に、ご協力いただいた方々のご芳名を掲載させていただきます。事業活動の一層の充実をはかるべく、今後ともどうぞよろしくお願い致します。ご芳名掲載につきましては、五月十日までの到着分とさせていただきます。

■創立130周年・再興50周年記念事業寄付金申込状況

平成17年5月10日現在（単位：円）

区 分	件数	申 込 金 額	納 入 金 額
宗 教 界	135	495,140,000	242,850,000
神 社 界	132	484,640,000	238,350,000
そ の 他	3	10,500,000	4,500,000
館 友	386	40,746,000	25,011,000
団 体	1	20,000	20,000
個 人	385	40,726,000	24,991,000
薦 志 家	24	13,870,000	12,930,000
募 の 会	645	20,835,000	20,835,000
企 業	76	46,185,000	29,675,000
本法人関係	203	50,407,000	30,311,000
役 員	5	7,700,000	5,700,000
名誉教授	5	2,250,000	2,170,000
教 職 員	193	40,457,000	22,441,000
合 計	1,469	667,183,000	361,612,000

北海道	三百万円
五十万円	天照教本部様 （室蘭市柏木町）
三十万円	旭川神社様 （旭川市東旭川南一糸）
十万円	樽前山神社様 （苫小牧市字高丘）
五万円	市来知神社様 （三笠市宮本町）
//	石狩八幡神社様 （石狩市井天町）
岩手県	
一万円	盛岡八幡宮様 （盛岡市八幡町）

山形県	志波彦神社鹽竈神社様 （塩竈市一森山）
十六万円	山形県神社庁 鶴岡西田川支部様 （鶴岡市神明町）
三万円	六槻八幡宮様 （鉄砲町）
一万円	正八幡神社様 （上山市宮脇）
//	月岡神社様 （上山市元城内）

茨城県	十万円	茨城県護国神社様 (水戸市見川)	大分県神社庁 西国東支部様 (西国東郡真玉町)	大分県神社庁 下毛支部様 (下毛郡耶馬溪町)
東京都	二百万円	日枝神社様 (千代田区永田町)	大分県神社庁 東国東支部様 (東国東郡国見町)	大分県神社庁 宇佐支部様 (宇佐市大字南宇佐)
百万円	東郷神社様 (渋谷区神宮前)	大分県神社庁 速見支部様 (速水郡日出町)	大分県神社庁 中津支部様 (中津市大字大島)	
三重県	三百万円	二見興玉神社様 (度会郡二見町)	大分県神社庁 北海部支部様 (臼杵市大字井村)	西寒多神社様 (大分市寒田)
五十万円	海山道神社様 (四日市市海山道町)	大分県神社庁 南海部支部様 (南海郡弥生町)	大分県神社庁 杵原八幡宮様 (大分市大字八幡)	
京都府	一千万円	八坂神社様 (京都市東山区祇園町)	大分県神社庁 大野支部様 (大野郡三重町)	尺間神社様 (南海郡弥生町)
兵庫県	百万円	廣田神社様 (西宮市大社町)	大分県神社庁 直入支部様 (直入郡直入町)	瀧神社様 (玖珠郡玖珠町)
二千万円	赤穂大石神社様 (赤穂市上飯屋旧城内)	大分県神社庁 大分県神社庁 玖珠支部様 (玖珠郡玖珠町)	大分県神社庁 大分県神社庁 大分県神社庁 大分県神社庁	大分県神社庁 大分県神社庁 大分県神社庁 大分県神社庁
三千万円	蛭子神社様 (神戸市兵庫区)	大分県神社庁 大分県神社庁 大分県神社庁 大分県神社庁	大分県神社庁 大分県神社庁 大分県神社庁 大分県神社庁	大分県神社庁 大分県神社庁 大分県神社庁 大分県神社庁

北海道	五十万円	植田 栄親様	十万円	小澤 恭子様
東京都	二十万円	芦原 高穂様	〃	酒井礼二郎様
石川県	二十万円	森田 文憲様	五万円	犬塚 智博様
十万円	寶達 俊臣様	〃	大嵩 龍一様	加藤 剛一様
五万円	寶達 周子様	〃	楠田 晴明様	榊林 重成様
三万円	寶達 宜子様	〃	辰 守弘様	二橋 長久様
福井県	〃	〃	藤田 昌宏様	松本 浩典様
二万円	坂本 元治様	〃	宮園 勲様	森岡 敬枝様
岐阜県	〃	〃	森 秀夫様	山本 高士様
愛知県	五万円	須永 邦枝様	〃	佐古 浩郁様
二十万円	小澤 吉生様	〃	森岡 秀夫様	松田 雅之様
〃	木全 修様	〃	山本 高士様	白井 稚人様
十万円	稻熊豊比古様	三万円	佐古 浩郁様	〃
〃	大原 和生様	〃	松田 雅之様	〃
〃	岡地 幸雄様	二万円	白井 稚人様	〃

[illegible]

山形県	二万円	武田	穀様	三重県	橋本	豊子様
長野県	三十五万円	牟禮	仁様	〃	角前	俊介様
					西山	嘉代子様

文学部神道学科	三万円	栗辻 卓様
文学部国文学科	二十万円 三万五千元	中澤 章浩様 長谷川勝己様
文学部国史学科	三万円	野崎 重保様
文学部コミュニケーション学科	三万円	若松 明様
	三万円	早川 繁一様

個人情報保護に関する法律の施行に伴い、ご芳名・金額等の掲載をご希望されない方々につきましては、別記とさせていただきます。

■神社界／今宮戎神社様、他四社 ■館友／十人
 ■篤志家／五人 ■企業／蹴球友会様、他一社

東京部	百万円 (株)SRA様
愛知県	十万円 (株)日本設計監理様
	一千万円 大成建設(株)
	百万円 名古屋支店様
	三十万円 中京食材(株)様
三重県	双光エシックス(株)様
	五百万円 (株)第三銀行様
	三百万円 (有)古川書店様
	五十万円 (株)勢乃國屋様
	三十万円
	伊勢米穀企業組合様
	二十万円 (有)大喜様
	〃 橋爪印刷様
	十万円
	セコム三重(株)伊勢支社様
	〃 鳥羽測量設計様
	五万円 宇治園様
	〃 (株)シラセ様
	〃 山本硝子(株)様
	二万円 (株)アイズ様
本法人関係	
皇學館大学名誉教授	
十万円	森下 千瑞様
学校法人皇學館教職員	
二十万円	大串兎紀夫様
〃	上小倉一志様
十万円	多田 真二様

現在まで多数のご協賛をお寄せいただいておりますが、この記念事業を完遂するためには、なお多くのご協力を仰がねばなりません。

つきましては、厳しい経済状況にはありますが、この事業に託す本学の意思と熱意をお汲みいただくとともに、学校法人聖學館の明日にご期待いただき、格段のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■募金目標額／8億円
■募金期間／平成21年3月まで ※期間延長あり
■寄付の種類【法人】一口の金額は特に定めておりません。分納もお受けいたします。【個人】一口一万円。
■問い合わせ先／学校法人 皇學館 記念事業推進室
〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL0596-22-6313 FAX0596-27-1704
E-mail suishin@kogakkan-u.ac.jp



中国社会科学院日本研究所の蔣立峰所長(左)と握手を交わす伴学長。関係者が見守るなか、調印式は行われた。

中国社会科学院と 学術交流の協定を締結

平成十七年三月十日(木)から十三日(日)にかけて、伴学長を団長とする訪中団四名(清水潔教授、張助教、大竹事務局長)は、中国社会科学院日本研究所との学術交流協定調印のため中国北京市を訪れた。

一九七七年に創立された中国社会科学院は、哲

五月に客員研究員が来日

相互に研究者を派遣すること、また、共同の講演会や研究会の開催、図書・刊行物の交換などが主な内容として盛り込まれた。

学および社会科学研究における中国最高峰の学術研究機関である。同院の日本研究所は一九八一年に設立されたもので、中国の日本諸機関や日本国内の研究機関と学術面での交流を中心に活動を行っている。

協定締結後、早速本学に研究者派遣の打診があり、五月から文学部国文学科客員研究員として趙剛氏(中国社会科学院日本研究所・助理研究員)を迎えている。現在、趙氏は「江戸時代の思想」についての研究を進めており、その成果が待たれるところだ。

めざせ甲子園! 人間力で勝つ野球

新グラウンド完成で練習にも一層の熱

皇學館高等学校

二年目を迎える 新生野球部



熱心に練習に励む姿が見られる野球部。夏の甲子園に向けて、全校一丸となって取り組んでいる。

午後三時三十分、そろそろ彼らが駆け足でやって来る時間だ。彼らとは、皇學館高校野球部に

所属する五十一名の部員たち。みな、グラウンドに入る前に「お願いします」と校内中に響き渡るうかという大きな声で挨拶をし、一礼した後、部室に向かい走ってゆく。

この春、皇學館高校野球部は創部四年目を迎えた。岡部博英新監督のもとで二年になる。岡部監督は名門・星稜(石川)で

コーチを務めた経験を持ち、監督として宇部鴻城(山口)を初の甲子園出場に導いた辣腕指導家だ。皇學館大学出身というところもあり、そのキャリアと実績をかわれて、赴任してこられた。



「人間力があれば、甲子園から迎えにきてくれる」と岡部監督。ときに厳しく、ときに優しく、部員たちは絶大の信頼を寄せる。



練習試合用に作られた真新しいユニフォームに身を包み、笑顔を見せるキャプテンの東川健太さん(左)と副キャプテンの河俣毅さん。

野球を通して 「人間力」感性を磨く

「正直、中途半端やなど思いました」
岡部監督は初めて野球部を見たときの印象をこう語る。まず取り組んだのは、部員たちの意識改革だ。岡部監督のモットーは何に対しても「全力疾走」。練習はもちろんのこと、挨拶の声、礼の仕

方ひとつとっても、部員たちに百分の力を出すよう指導した。野球を通じて「人間力」「感性」を磨くことが目的である。これまでと違う指導方針に、とまどいがなかったわけではないだろう。しかし、部員たちの顔つきが次第に変わり始めた。

キャプテンを務める東川健太さんは「人間として成長したと思う」と話す。副キャプテンの河俣毅さんも「本気でやる楽しさがわかってきた」と。学業の面でも部員たちはリーダーシップを発揮し、学級委員を務める者も多い。

周りから起った グラウンド整備の声

かつてのグラウンドは小石や砂利が混じり、スライディングするとすり傷を負ったり、イレギュ

ラーバウンドで腕や指にケガをすることが多かった。しかし、部員たちは文句一つ言わず、練習が終わると草むしりなどグラウンドの手入れに励んでいた。

やがて部員たちのひたむきな姿に心動かされたのか、どこからともなく「野球部がもっと練習に打ち込める環境を」との声が起る。

学校の対応もすばやく、今年の三月には新しい土が入り、打撃練習場や投球練習場、照明などを備えた新グラウンドが完成。真新しいユニフォームも調い、甲子園に向け準備は万端だ。

三重地区予選開幕は七月十六日。野球部の夏がいよいよよじまる。みんなの熱い期待と思いに支えられて……。

訂 正	
第3号の一面記事「総合体育館の地鎮祭を斎行」の本文と写真説明中に間違いがありました。左記の通り訂正いたします。	
(二段7行目)	「参加」↓「参列」
(二段5行目)	「降神」↓「警鐘」
(三段3行目)	「学生たちの健やかな心身の成長」
(剣道場の写真説明)	「祭室教室」↓「祭式教室」
(精華寮神殿大広間の写真説明)	「祭室教室」↓「祭式の授業」



公式試合用のユニフォームを身につけた岡部監督(右)と、櫻井勝之進本学常任顧問(中央)、西井部長。ユニフォームの「皇學館」の文字は、櫻井顧問の手によるもの。

平成18年度 皇學館大学 入試概要

●AO特別選考入試

学 部	エントリー期間	セミナー実施日	合格発表
文 学 部	7/1(金)～29(金)	8/4(木)	10/7(金)
社会福祉学部①			
社会福祉学部②	7/1(金)～8/12(金)	8/18(木)	

※神道学科は、神道学科特別選考と一般選考を実施します。

●推薦入試

入試区分	学 部	出願期間	試験日	合格発表
館友推薦(前期)	文 学 部	10/24(月)～11/8(火)	11/13(日)	11/18(金)
	社会福祉学部			
館友推薦(後期)	文 学 部	2/27(月)～3/9(木)	3/13(月)	3/16(木)
	社会福祉学部			
一般推薦	文 学 部	10/24(月)～11/8(火)	11/13(日)	11/18(金)
資格取得者対象 自己推薦	社会福祉学部			
	文学部コミュニケーション学科			

●一般入試

入試区分	学 部	出願期間	試験日	合格発表
前期	記述1科目型	1/10(火)～27(金)	2/1(水)午後	2/13(月)
	記述2科目型		2/2(木)午後	
	マーク3科目型		2/3(金)	
	マーク2科目型		2/1(水)午前 2(木)午前 試験日自由選択	
中期	マーク2科目型	2/8(水)～20(月)	2/24(金)	3/3(金)
後期	マーク2科目型	2/27(月)～3/9(木)	3/13(月)	3/16(木)
	社会福祉学部			

●センター試験利用入試

入試区分		学 部	出願期間	試験日	合格発表
前 期	文 学 部	1/10(火)～2/3(金)	個別学力 検査等 行いません		2/13(月)
	社 会 福 祉 学 部				
中 期	文 学 部	2/8(水)～20(月)			
	社 会 福 祉 学 部				
後 期	文 学 部	2/27(月)～3/9(木)			3/16(木)
	社 会 福 祉 学 部				

入試の詳細につきましては、入学試験課までお問い合わせ下さい。

皇學館大学 入学試験課

〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704
☎0596-22-6316 [E-mail] nyusi@kogakkan-u.ac.jp